教育プログラム・コースの概要

大学名等	関西医科大学大学院医学研究科(博士課程)						
教育プログラム・コース名	新規治療法開発を目指す人材育成のための創薬研究コース(正規課程)						
対象職種・分野	医学研究科博士課程大学院生(医師、医学系研究者等)						
修業年限(期間)	4年(ただし、長期履修制度を利用する学生は5年)						
養成すべき人材像	腫瘍形成・進展・悪性化に関わるがん生物学の基礎知識・研究技能を習得し、新規治療法の開発や創薬研究が遂行できる医療者の養成を目指す。がん細胞における遺伝子の転写・翻訳制御機序の解明、micro RNAやlong non-coding RNA (lnc RNA) に着目した疾患特異的バイオマーカーの探索、がん細胞特異的に発現する膜タンパク質のモノクローナル抗体作製、がんオルガノイド作製技術を学ぶ。これらの知識を基に、新たな診断・治療法を開発できる次世代を担う人材を養成する。						
修了要件・履修方法	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として4年以上在学すること ・コースワーク4単位、リサーチワーク26単位以上の計30単位以上を修得し、必要な研究指導を受けたうえで博士論文を提出し、博士論文の審査及び試験に合格すること。 						
履修科目等	<p>【コースワーク】 必修コース(腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)、腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)を含む)、選択必修コース</p> <p>【リサーチワーク】 講義、演習、実験・実習、研究・論文作成指導</p>						
がんに関する専門資格との連携							
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	新規治療標的分子の探索・同定を含めた創薬研究を経験できる。microRNAやlong non-coding RNAに着目した核酸医薬創出や疾患特異的バイオマーカーの探索などを体験できる。腫瘍形成・進展における多段階遺伝子発現制御機構について分子生物学的な基礎知識・最新研究手技を習得することが出来る。有効な治療薬のないがんに対する抗体医薬開発を目指して、難治性がんの特異的に発現する膜タンパク質のモノクローナル抗体を作製する。各臨床科と連携し、患者検体よりがんオルガノイドを作製し、上記研究に活用するとともに、染色や抗がん剤の奏功性を調べることで診断に寄与する技術開発を行う。						
指導体制	<p>【コースワーク】 該当科目担当教員、腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)・腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)は関連5大学の講義担当教員</p> <p>【リサーチワーク】 解剖学講座、医化学講座、病理学講座、心療内科学講座、呼吸器腫瘍内科学講座、内科学第一講座、腎泌尿器外科学講座、微生物学講座、皮膚科学講座に所属する各大学院教員が担う。</p>						
修了者の進路キャリアパス	本学附属病院および地域関連病院において、個別化医療、プレジジョンメディシンに対応可能ながん専門医療人として、地域医療の促進および後進の育成に努める。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	1	1	1	1	1	5
受入(養成)目標人数設定の考え方・根拠	関係講座における過去の大学院生の受入実績をもとに設定。						